

サイバーリスクの数値化モデルの紹介

サイバーリスクはIT部門だけの問題ではありません。
情報漏洩などのリスクは、事故発生時に多大な時間と労力、費用などが必要となる事業継続性に関わる「**経営リスク**」です。
「サイバーリスクの数値化モデル」を活用して、サイバーリスクを数値で把握しておきましょう。

サイバーリスクの数値化モデル

一般社団法人日本サイバーセキュリティ・イノベーション委員会 (JCIC) から、

個人情報流出によって生じる損害額

を算出する「サイバーリスクの数値化モデル」が公開されています。

「サイバーリスクの数値化モデル」ダウンロードサイト
<https://www.j-cic.com/reports.html>

ダウンロードできる
ファイルはExcelファイル
で、Excelシートに

- 保有する個人情報の種類
- 1日あたりの売上金額
- 前期純利益

など8項目を選択・入力
するだけで、個人情報
が漏洩した際に想定される
損失額を算出できます。

		想定損失額の目安	算出根拠
直接被害	①個人情報漏えいによる金銭被害	▲80億円	JNSA一人当たり損害賠償額より算出 (基礎情報価値×機微情報度×本人特定容易度×社会的責任度×事後対応評価×顧客数≒80億円)
	②ビジネス停止による機会損失	5営業日あたり ▲20億円	社内ヒアリングより算出 (1日あたりの生産量×商品単価≒2億円) (1日あたりのECサイト売上≒2億円)
	③法令違反による制裁金	▲40億円	EUデータ保護指令 (GDPR) の制裁金 (全世界の売上高の4%≒40億円)
	④事故対応費用	▲0.6億円	過去事例や業者ヒアリングにより算出 (調査費用、データ復旧費用、応急処置費用等)
間接被害	⑤純利益への影響	▲10.5億円	JCIC調査実績より算出 (前期純利益50億円×21%≒10.5億円)
	⑥時価総額への影響	▲300億円	JCIC調査実績より算出 (時価総額3000億円×10%≒300億円)

年商1000億円企業における損失想定額の例 (出典: JCIC)

サイバーリスクを数値で算出することでサイバーリスクを見える化し、経営視点でセキュリティ対策についての取り組みを進めましょう。